

委 員 会 報 告

予算決算審査 特別委員会

令和元年6月18日に委員会を開催しました。委員会での質疑は次のとおりです。

〈令和元年度一般会計補正（第1号）〉

問 プレミアム付商品券が10月から実施されるがPR方法は

答 対象世帯へ個別に通知します。また、広報おまえぎきやHPにも詳細を掲載します。

問 商品券を取り扱う店舗は

答 商工会へ委託し、幅広く市内の店舗へ参加を呼びかけます。

〈対象〉

- ◎平成31年度住民税非課税者（課税されている人の被扶養者や生活保護受給者は除く）
- ◎平成28年4月2日から令和元年9月30日までの間に生まれた子どもがいる世帯の世帯主

原子力対策 特別委員会

令和元年6月19日に委員会を開催し、浜岡原子力発電所の状況について、中部電力(株)より報告を受けました。

1 浜岡4号機の適合性確認審査の状況について

福島第一原子力発電所事故の教訓を活かし、新しく規制基準が設けられました。主なものは、原子炉を冷却できなくなるような過酷な重大事故の発生・進展を防ぐ対策の新設、地震・津波などの自然災害に対する対策の強化です。

中部電力(株)では、4号機の対策が新規規制基準に適合しているか原子力規制委員会の審査を受けていると報告を受けました。

2 特定重大事故等対処施設について

「特定重大事故等対処施設」とは、意図的な大型航空機の衝突やその他のテロにより、原子炉格納容器の破損による放射性物質の大量放出を制御する施設です。原子炉建屋から100m以上離れた場

所に遠隔で操作できるような制御室、原子炉を冷やすために必要な電源や注水設備などの設備を言います。現在、その設備について検討しているとの報告を受けました。

〈新規規制基準〉

<p>意図的な航空機衝突への対応</p> <p>重大事故の発生・進展を防ぐ対策を新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射性物質の拡散を抑制する対策 ・格納容器の破損を防止する対策 ・炉心損傷を防止する対策 	<p>重大事故対策</p> <p>浜岡原子力発電所における対策の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガスタービン発電機 ・淡水貯蔵 ・交流電源車 など
<p>自然災害等から重要な設備を守る（共通の要因により同時に機能が損なわれない）対策を大幅に強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震・津波に関してそれぞれの調査結果に基づいて改めて評価し直し、不確かさを考慮したうえで基準地震動と基準津波を策定 ・竜巻や火山などの自然現象や火災、浸水などの影響を評価 ・上記の評価を踏まえた必要な対策 	<p>重大事故に至らせない対策</p> <p>浜岡原子力発電所における対策の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防波壁 ・強化扉 ・竜巻対策 など

新規規制基準と浜岡原子力発電所の対策例

総合開発計画策定 特別委員会

令和元年6月19日に委員会を開催し、内容は次のとおりです。報告後に浜岡中学校仮校舎、災害支援物資拠点施設を視察しました。



災害支援物資拠点施設（旧消防署跡地）

1 浜岡中学校校舎改築事業の報告について

解体工事の安全祈願祭を6月3日に行い、12月から本体工事に入り令和3年2月に校舎が完成し、全てが終了するのは夏休み前の予定です。なお、アスベスト調査を実施した結果、処理工事は11月末